

令和3年度第2回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会 議事概要

- 1 日 時 令和3年11月4日(木) 午後2時から午後2時40分まで
- 2 場 所 一宮市保健所 4階 大会議室
- 3 出席者 別添出席者名簿のとおり
- 4 傍聴人 3人
- 5 議 題 公的医療機関等2025プランに準じた事業計画について
非稼働病棟を有する医療機関への対応について
具体的対応方針(役割)の決定について【公立・公的医療機関分】
- 6 協議結果 全ての議題が承認されました。
- 7 会議の内容

(1) 開会(清須保健所次長)

令和3年度第2回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会を開催します。

(2) 委員長の選出について

開催要領第3の第4項の規程によりまして、互選で、委員長は一宮市医師会の櫻井様
にお願いする。

(3) 委員の出欠席について

構成委員数は16名で、出席委員数は15名、欠席委員数は1名で、委員の過半数が出
席しています。

(4) 会議の公開・非公開について

当委員会は、開催要領第6第1項によりまして、全て公開で行います。

(5) 議事

ア 公的医療機関等2025プランに準じた事業計画について「資料1、参考資料1、
参考資料2、参考資料3」

(説明者：一宮市保健所 平尾課長補佐)

・医療法人恵仁会一宮整形外科の19床が非稼働になっており、休床で整理されてい
ました。

・医療法の手続きは完了しているため、事後報告になりますが、16床の廃止により、
病床数は16床減少しています。

・新棟を建設し、令和3年9月から急性期3床が稼働している状況です。

イ 非稼働病棟を有する医療機関への対応について「資料 2、参考資料 4」

(説明者：総合大雄会病院 井尾経営企画部長)

- ・各病棟の状況につきましては、コロナの影響が出る前の 2019 年の実績を記載しています。
- ・5 階 8 床を休床してしまっていて、それを除くと 371 床、稼働率は 82% です。
- ・地域における役割は、高度急性期医療、急性期医療、救急医療、小児医療、周産期医療、災害拠点病院、地域医療支援病院、初期臨床医研修、専攻医研修を行っています。
- ・非稼働病棟の状況は、非稼働の開始時期が 2018 年 1 月で、非稼働の理由は、透析医療を担う複数名の腎臓内科医師の採用が計画どおりに進まず、当初の計画が遅れているためです。また、2020 年に入ってから新型コロナウイルス感染症による病院経営への影響が大変大きく、将来の収支計画を見直しせざるを得なくなり、診療科の移転は 2024 年以降になると考えています。
- ・総合大雄会病院公的医療機関等 2025 プランでは、同一法人の大雄会第一病院から泌尿器科、形成外科、血管外科を総合大雄会病院に移転して、総合大雄会病院に急性期機能を集約する。休床中の 8 床を稼働させ、救急医療、悪性腫瘍等の様々な疾患に対して、多面的かつ効率的に対応しようと考えています。
- ・今後の予定は、腎臓内科医師の採用と資金計画の見直しを行い、2024 年 4 月を目標として、急性期機能を 8 床再稼働させていきたいと考えています。

ウ 非稼働病棟を有する医療機関への対応について「資料 3、参考資料 4」

(説明者：稲沢市民病院 石村事務局長)

- ・当院の各病棟は、ワンフロアに南北 2 つの病棟があり、3 階から 6 階までの計 8 病棟で 320 床の病床があります。
- ・現在の休床病棟は、3 階北病棟 32 床と、4 階北病棟 46 床になります。病床稼働率は、令和 3 年 8 月の直近の状況を記載しています。
- ・病棟ごとの主な診療科は、5 階南病棟が感染症病棟になり、5 階南病棟にあった地域包括ケア病棟が、5 階北病棟に移動しています。また、6 階北病棟の稼働率が低くなっていますのは、新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、病棟看護師を感染症病棟に集約させるため、診療及び入院患者の制限をさせていただいた原因によるものです。
- ・3 階北病棟の非稼働の状況につきましては、令和元年 10 月から非稼働となっていて、当時から病床稼働率は低く、一時的な休床とする計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、病棟スタッフを集約するなどして、現在に至っています。
- ・3 階北病棟の今後の予定ですが、新型コロナウイルス感染症が終息した時点で、急性期医療の診療制限を行っていた患者を受け入れていく際に、開床させていきたいと考えています。
- ・3 階北病棟の必要性は、新型コロナウイルス感染症がまん延し、感染症患者を多数受け入れるため、一般病棟の 5 階南病棟に陰圧装置などを導入し、感染症専用病棟に整備しました。今後、新型コロナウイルス感染症が終息した後も、新たな感染症に対応するため、5 階南病棟を感染症専用病棟として残しておく必要があると判断し、現

在非稼働の3階北病棟を急性期病棟として維持する必要があると考えています。

・4階北病棟の非稼働の状況につきましては、当院が移転新築した平成26年11月から非稼働になっていまして、新築移転時には、平成31年4月に開床の計画を立てていましたが、医師を確保する事が難しく、現在に至っています。

・4階北病棟の今後の予定ですが、4階南病棟と一体化し、4階病棟として再編していく計画の中で、一部の病床を4階病棟の病室として使用したいと考えています。なお、4階病棟は、主に高齢者を対象とした転倒等による骨折の治療に特化した専用病棟として「転倒骨折センター」の開設準備を進めています。

エ 非稼働病棟を有する医療機関への対応について「資料2、参考資料4、地域医療構想推進委員会の意見案」

(説明者：一宮市保健所 平尾課長補佐)

・大雄会第一病院から総合大雄会病院への医療機能の移転後は、非稼働病棟の稼働が必要となるため、事務局として病床は必要だと考えています。

オ 非稼働病棟を有する医療機関への対応について「資料3、参考資料4、地域医療構想推進委員会の意見案」

(説明者：清須保健所 蒲生課長補佐)

・3階北病棟の32床につきましては、令和元年10月から休床しているものであり、5階南病棟の46床は、今般の新型コロナウイルス感染症の患者を多数受け入れるため、感染症専用病棟として整備しており、コロナ終息後も、感染症専用病棟として、残していく予定となっていますことから、5階南病棟で担っていた急性期医療を現在休床している3階北病棟に移行する計画は、従前から稲沢市民病院において提供してきている医療を維持するために、3階北病棟の存続の必要性があると事務局として判断しています。

・4階北病棟46床につきましては、46床の存続や返還の部分を次年度の本委員会において、進捗状況の報告を求めまして、その状況を確認していく必要がありますことから、判断としましては、継続協議という形にしています。

カ 質疑

(一宮市医師会長 櫻井義也委員「委員長」)

・継続協議の方法をどうするか。協議に必要なものは、再編計画の資料が必要ということが良いですか。

(清須保健所 蒲生課長補佐)

・今後、検討に必要な資料としましては、具体的な再編計画が必要となります。

キ 具体的対応方針(役割)の決定について【公立・公的医療機関分】「資料4」

(説明者：清須保健所 蒲生課長補佐)

・県庁から国に報告する必要がありますので、年に1度、このような形で協議をしています。

・公立・公的医療機関のプランについて、病床の機能区分の状況をまとめたものになりますが、昨年度からの変更は、一宮市立木曽川市民病院の一般病床数が8床減という変更になっています。

ク 非稼働病棟を有する医療機関の状況について「資料5、参考資料4」

(説明者：清須保健所 蒲生課長補佐)

・稲沢市民病院の3階北病棟32床は、現在も休床中となっています。5階北病棟46床につきましては、地域包括ケア病棟として、令和3年3月までに稼働済みとなっています。4階北病棟46床は、現在も休床中です。

・厚生連稲沢厚生病院は、一般病床数249床から、50床を減らしまして、令和3年3月22日から、一般病床数199床へダウンサイジングしています。

・診療所では、足立産婦人科が、病床数7床から5床減らしまして、令和3年10月7日から病床数が2床となっています。また、医療法人恵仁会一宮整形外科が、病床数19床から16床を減らしまして、令和3年8月31日から病床数が3床となっています。

ケ 医療機器の共同利用について「資料6、参考資料5」

(説明者：清須保健所 蒲生課長補佐)

・愛知県外来医療計画につきましては、外来医療機関での医療分担、連携を推進していくことを目的に、2020年に発表された計画です。この計画により、医療機関の医療機器をより効率的に活用していくため、医療機関が新たに所有する対象のCT、MRI、PET、放射線治療のリニアック、ガンマナイフ、マンモグラフィーを設置した場合に、共同利用計画を作成しまして、所管保健所に提出をしていただくことになっています。

・医療法人恵仁会一宮整形外科が設置しましたMRIにつきましては、つだハートクリニックと共同利用するものです。

コ その他

(説明者：清須保健所 蒲生課長補佐)

・非稼働病棟を有する医療機関への対応についての地域医療構想推進委員会の意見につきましては、本日の地域医療構想推進委員会の終了後に、県の医療審議会医療体制部会に報告するという事になります。

サ その他

(説明者：一宮市保健所 平尾課長補佐)

・一宮西病院において、厚生労働大臣から令和3年7月13日付けで、新型コロナウイルス感染症の特例病床として、一般病床7床の同意を得ておりまして、その後、病床の整備が完了しまして、令和3年10月18日付けで一宮市保健所が病床の使用許可をしていますので御報告します。

(6) 閉会（清須保健所次長）

令和3年度第2回尾張西部構想区域地域医療構想推進委員会は、これもちまして、閉会といたします。